

マティス・リュシー

Mathis Lussy

マティス・リュシーは、1828年スイスのシュタンスで生まれた。1863年、35歳の時に初めての著書である「ピアノ教育法の改革」を出版した。この著書が出版されるや否やピアノ教育の大家たち(リスト、タルベルク、モシュレス、マルモンテル、その他多くの巨匠たち)の注目を浴びた。1873年に出版した「音楽表現概論」は音楽教育に革命をもたらし、リーマン、ビューローの賛辞をうけることとなった。この著作のもっとも興味深い部分はリズムに関するところであり、リュシーは1883年にさらにその章を発展させ「音楽のリズム」という著書を出版する。さらに1903年には「近代音楽におけるアナクルーズ」を出版し、ボルダン賞を受け、1912年には遺作となった「ベートーベンの悲愴ソナタ」を出版した。この著書はリュシーの理論を実際の楽曲によって証明しようとしたものである。リュシーは、生涯をリズムと音楽表現の理論を探究することに捧げ、1910年82歳で亡くなった。

リュシーの弟子にはリトミックの創始者であるダルクローズなどがおり、ダルクローズはリュシーのリズムと表現の理論を基にリトミックを開発し成功を収めた。他にコルトーは直接パリのコンセルヴァトアールでリュシー自身からリズムと表現の理論を学び、ラフマニノフとホロヴィッツは授業で、カザルス、ティボー、シュナーベルとブゾーニは独学でリュシーの理論を学び自分の演奏に応用した。



稲森訓敏 いなもり のりとし

1956年静岡に生まれる。国立音楽大学作曲科卒、国立音楽大学大学院作曲科音楽理論専攻修了、作曲理論を島岡譲、小河原美子、作曲をトーマスマイヤー・フィーヴィツヒ、指揮を高田三郎、高階正光の各氏に学ぶ。9年間東京コンセルヴァトアール尚美に勤務。大学院時代にリズム中心の教育(マティス・リュシー/Mathis Lussyの理論)に出会い、それまでの和声中心の音楽理論教育に対して演奏表現に画期的な変化をもたらす理論であることを確信する。その後、東京コンセルヴァトアール尚美においてリュシーの理論の正しさを証明するために、ピアノ科において「演奏表現法」という名の授業で様々な実験を繰り返し、遂にリュシーも成し得なかったメソッド化、そしてテキストの開発に至る。現在Musical Expression主宰、リュシーメソッド代表。父と叔父の康利氏の影響でジャズにも造詣が深くアレンジ本なども出版している。

あなたの演奏、指導が変わる

リュシーメソッドの本

 中央アート出版社



『音楽のリズム(Le Rythme Musical)』はリスト、ルービンシュタインやビューローが用い、ダルクローズリトミックの礎を作った音楽表現理論です。ヨーロッパの音楽大学では最初に読むべき100冊などに選出されるなど、日本よりも音楽表現により大きい比重をかけた教育がなされているのは間違いないことと思いますが、これらの影響はどのようなところに出るのでしょうか?

従来の楽曲分析法は形式や和声分析を主に行う分析法です。リュシーメソッドでの分析法はリュシーのリズム理論を基にフレーズングやアクセント、強弱(フォルテ、ピアノ、クレッシェンド等)、速緩(曲全体のテンポ、アツチレランドやリタルダンド)などを直接分析してゆきます。演奏に直結する要素を分析するので演奏にすぐ役立つのです。みなさんも従来の分析法がどのように演奏に役立つのか疑問に思った方も大勢いらっしゃると思います。大きな違いは和声中心の分析法とリズム中心の分析法の違いです。この違いが演奏に役立つか役立たないかを定める重大なポイントなのです。



『音楽のリズム～要約版～』の監修者の手引きには収められていなかったエクササイズを中心にした、『音楽のリズム』の問題集です。一段の簡単なコールユーブンゲンなどからベートーベンのソナタのような大曲までの課題を集約網羅しています。解答編と解答を演奏した模範演奏CD付きですので、フレーズングの確認や、演奏の変化などをリアルに学ぶことができます。

『音楽リズムの表現法
～リュシーメソッドの実習～』
菊倍判 定価3,780円(税込)

【お申込み方法】

- 店頭・・・おもて面の申込書にご記入の上、宮地楽器下記店舗までご持参頂き、チケットをご購入ください。
《A.I.スタジオ》TEL 042-573-5633 / 《国立音楽大学店》TEL 042-537-8200
《小金井店ショールーム》TEL 042-385-5585 / 《ららぽーと立川立飛店》TEL 042-540-6636
 - 電話・・・《A.I.スタジオ》TEL 042-573-5633(受付時間10:00～18:00)までお電話にてお申し込みください。
 - FAX・・・おもて面の申込書にご記入の上、右記へ送信してください。《A.I.スタジオ》FAX 042-573-5637
- 電話、FAXにてお申込みの場合は下記口座に受講料のお振込みをお願い致します。
多摩信用金庫 東大和支店 普通口座0428774
株)宮地商会 小金井支店 カ)ミヤジショウカイ コガネイシテン ※振込手数料のご負担をお願い致します